

教育民生常任委員会
予算常任委員会教育民生分科会

(平成29年12月14日)

○ 荒木美幸委員長

皆様、おはようございます。それでは、きのうに引き続きまして、ただいまより予算常任委員会教育民生分科会を始めさせていただきます。

では、これより健康福祉部所管の議案につきまして、審査を行わせていただきたいと思います。まず、永田部長からご挨拶をよろしく願いいたします。

○ 永田健康福祉部長

皆さん、おはようございます。

インフルエンザがそろそろはやりだしておりますので、皆さんも気をつけていただければと思います。去年は、本会議の初日を欠席させていただきましたご迷惑をかけましたが、ことしは、風邪は本会議前に治りましたので、無事に進んでおりますので、よろしくお願いしたいと思います。

きょうですが、補正予算の関係、それから、審議会のご報告を2件させていただくのと、あと、協議会のほうで本会議でもお話をしました国民健康保険の都道府県の広域化の問題と、それから、保健医療推進プランについてお諮りをさせていただきます。どうかご意見いただきますよう、よろしくお願い致します。

以上でございます。

○ 荒木美幸委員長

ありがとうございました。

議案第33号 平成29年度四日市市一般会計補正予算（第6号）

第1条 歳入歳出予算の補正

歳出第3款 民生費

第1項 社会福祉費（関係部分）

第3項 生活保護費

第6項 介護保険費

第4款 衛生費

第3項 保健所費

第3条 債務負担行為の補正（関係部分）

議案第34号 平成29年度四日市市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

議案第36号 平成29年度四日市市介護保険特別会計補正予算（第1号）

○ 荒木美幸委員長

それでは、予算常任委員会教育民生分科会といたしまして、議案第33号平成29年度四日市市一般会計補正予算（第6号）、第1条歳入歳出予算の補正、歳出第3款民生費、第1項社会福祉費（関係部分）、第3項生活保護費、第6項介護保険費、第4款衛生費、第3項保健所費、第3条債務負担行為の補正（関係部分）、議案第34号平成29年度四日市市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）及び議案第36号平成29年度四日市市介護保険特別会計補正予算（第1号）についてを一括で議題といたします。

本件につきましては、議案聴取会におきまして資料の請求はありませんでしたので、質疑より行います。

ご質疑のある委員の方は挙手にてご発言をお願いいたします。

（発言する者あり）

○ 荒木美幸委員長

少し説明から時間もたっておりますので、すぐには締めませんので、少し皆様資料等を確認いただきまして、ご質疑のある方は挙手にてお願いをいたします。少しお待ちください。

いかがでしょうか、ご質疑はございませんか。

（なし）

○ 荒木美幸委員長

ご質疑もございませんので、質疑を終結させていただきますが、よろしいでしょうか。

（異議なし）

○ 荒木美幸委員長

では、これより各議案ごとに討論、採決を行いたいと思いますので、よろしくお願いをいたします。特別会計と分けてやりますので、お願いします。

これより、まず、議案第33号平成29年度四日市市一般会計補正予算（第6号）、第1条歳入歳出の予算の補正、歳出第3款民生費、第1項社会福祉費（関係部分）、第3項生活保護費、第6項介護保険費、第4款衛生費、第3項保健所費、第3条債務負担行為の補正（関係部分）について、討論、採決を行います。

討論のある委員の方は挙手にてご発言願います。

（なし）

○ 荒木美幸委員長

討論もないようですので、これより分科会としての採決を行いたいと思います。よろしいでしょうか。

（異議なし）

○ 荒木美幸委員長

なお、全体会へ送るか否かは採決の後にお諮りをさせていただきます。

では、議案第33号平成29年度四日市市一般会計補正予算（第6号）、第1条歳入歳出予算の補正、歳出第3款民生費、第1項社会福祉費（関係部分）、第3項生活保護費、第6項介護保険費、第4款衛生費、第3項保健所費、第3条債務負担行為の補正（関係部分）につきましては、原案のとおり決することにご異議はありませんか。

（異議なし）

○ 荒木美幸委員長

ご異議なしと認め、本件は可決すべきものと決しました。

全体会に送るべきものもなしということでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 荒木美幸委員長

ありがとうございます。

[以上の経過により、議案第33号 平成29年度四日市市一般会計補正予算（第6号）、第1条歳入歳出予算の補正、歳出第3款民生費、第1項社会福祉費（関係部分）、第3項生活保護費、第6項介護保険費、第4款衛生費、第3項保健所費、第3条債務負担行為の補正（関係部分）について、採決の結果、別段異議なく可決すべきものと決する。]

○ 荒木美幸委員長

では、続きまして、議案第34号平成29年度四日市市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について、討論、採決を行います。

討論のある委員の方は挙手にてご発言願います。

(なし)

○ 荒木美幸委員長

討論もないようですので、これより分科会としての採決を行いたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 荒木美幸委員長

なお、全体会へ送るか否かは採決の後にお諮りをさせていただきます。

では、議案第34号平成29年度四日市市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）につきましては、原案のとおり決することにご異議はございませんか。

(異議なし)

○ 荒木美幸委員長

では、ご異議なしと認め、本件は可決すべきものと決しました。

[以上の経過により、議案第34号 平成29年度四日市市国民健康保険特別会計補正予算
(第3号)について、採決の結果、別段異議なく可決すべきものと決する。]

○ 荒木美幸委員長

続きまして、議案第36号平成29年度四日市市介護保険特別会計補正予算(第1号)につ
いて、討論、採決を行います。

討論のある委員の方は挙手にてご発言を願います。

(なし)

○ 荒木美幸委員長

討論もないようですので、これより分科会としての採決を行いたいと思いますが、よろ
しいでしょうか。

(異議なし)

○ 荒木美幸委員長

では、議案第36号平成29年度四日市市介護保険特別会計補正予算(第1号)につきまし
ては、原案のとおり決することにご異議はありませんか。

(異議なし)

○ 荒木美幸委員長

ご異議なしと認め、本件は可決すべきものと決しました。

全体会に送るべきものもなしということでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 荒木美幸委員長

ありがとうございました。

[以上の経過により、議案第36号 平成29年度四日市市介護保険特別会計補正予算（第1号）について、採決の結果、別段異議なく可決すべきものと決する。]

○ 荒木美幸委員長

では、ここで理事者の一部入れかえがございますので、委員の皆様はしばらくお待ちをいただきたいと存じます。

おそろいでしょうか。

では、ここからは所管事務調査といたしまして、平成29年度第3回四日市市障害者施策推進協議会について、平成29年度第6回ないし第8回四日市市民生委員推薦会について一括して報告を受けたいと思います。資料の説明をお願いいたします。

○ 田中障害福祉課長

おはようございます。障害福祉課長、田中です。よろしくお願いいたします。

資料のほうは、タブレットトップ画面に行ってください、03教育民生常任委員会、その次の12平成29年11月定例月議会、その中の05健康福祉部所管事務調査資料、こちらをごらんください。

よろしいでしょうか。

○ 荒木美幸委員長

よろしくお願いいたします。

○ 田中障害福祉課長

こちらの資料の4分の3にお進みください。よろしいでしょうか。

11月6日に開催をいたしました第3回四日市市障害者施策推進協議会について報告をさ

させていただきます。議題につきましては、（１）第３次四日市市障害者計画の進捗状況の確認について、（２）障害者医療費助成制度について、（３）その他の三つを議題といたしました。

一つ目の議題であります第３次四日市市障害者計画の進捗状況の確認について、委員から出された①から⑤の意見に対しまして、各担当のほうから回答を行わせていただきました。

①の障害者の健康づくり講座については、参加者からは、トレーニング機器が使いやすく継続できそう、自宅でもできる体操がわかった、食事量の目安がわかったなどの声をいただいております、自分に合った運動方法や体を動かすきっかけづくりとして利用していただけるよう、広報よっかいちや案内チラシなどで周知をしていくという回答がありました。

②の医療的ケアが必要な児童生徒への学校現場での対応については、事前に保護者立ち会いの上、主治医等から実地研修を受け、排たんの補助、吸引機での吸たん、排便、導尿支援、カニューレ、カテーテルの衛生的な管理や体調管理なども行っており、対象の児童生徒に対しては、成長とともに自主管理をすることを目標にしつつ、主治医や保護者とも連携を密にとりながら、必要な医療的ケアを実施していくとの回答がなされました。

移転後のあけぼの学園の二次避難所の指定については、移転後の新施設についても二次避難所に指定する必要があると考えており、新施設では施設規模が拡大することから、定員の拡大などできるのではないかと考えているとの回答がなされました。

④の自閉症や行動障害のある人が避難できる避難所については、移転後、一次避難所での別の部屋を確保するほうがよいのか、または、障害のある人が通い込んでいる場所を確保するなどのさまざまな観点での検討も必要であり、例えば、通所型の障害福祉サービス事業所に対して、二次避難所としての協定締結についての意向調査を実施することを検討していくとの回答がなされました。

⑤の成年後見サポートセンターについては、成年後見サポートセンターが行っている主な支援として、成年後見制度に関する相談、制度の趣旨や手続の方法などの必要な情報提供、手続が円滑に行われるよう相談者への支援、親族後見人や被成年後見人などからの相談に関する必要な支援、市民に対する成年後見制度の利用に関する理解を促進することを実施しているとの回答がなされました。

次に二つ目の議題の障害者医療費助成制度についてですが、身体障害者４級の医療費助成制度の実施に向けて、詳細な制度設計をどうしていくかについては、さらなる協議が必

要であり、また、市単独事業の見直しについても結論が出ていない状況の中、これまでの障害者施策推進協議会で議論してきたものを一つの形としてあらわすために、平成31年度から始まる第4次の四日市市障害者計画に身体障害者4級の方への医療費助成を実施すること、既存事業の見直しについて位置づけをおこない、制度の詳細部分について引き続き実施に向けて議論を重ねていくことを提案いたしました。

当日、委員から出された主な意見を記載させていただいておりますので、お目通し下さい。

最後に、三つ目の議題ですが、第4次の障害者計画策定に向けたアンケートの最終案を配布させていただき、12月中にアンケートを実施することを報告させていただきました。

私の報告は以上です。

○ 水谷健康福祉部次長兼健康福祉課長

健康福祉課長の水谷でございます。よろしくお願いいたします。

続きまして、4ページのほうをごらんください。

平成29年度第6から8回四日市市民生委員推薦会のご報告でございます。

民生委員推薦会につきまして、持ち回り審議を2回を含みまして、計3回開催をいたしました。民生委員・児童委員及び主任児童委員候補者につきまして、それぞれ審議を行いまして、3回とも別段異議なく承認をされましたので、県のほうへ推薦をしたところでございます。

説明は以上でございます。

○ 荒木美幸委員長

ありがとうございました。

説明はお聞き及びのとおりでございます。

ご質疑のある委員の方は挙手にてご発言をお願いいたします。

○ 樋口博己委員

民生委員の推薦会ですけど、これ、去年の12月に改選があつて、もう丸1年たつんですけど、ここまで来て、あと欠員はどれぐらいですか。

○ 水谷健康福祉部次長兼健康福祉課長

現在、欠員は民生委員のほうで5名、主任児童委員のほうで1名、計6名の欠員となっております。

以上でございます。

○ 樋口博己委員

主任児童委員は1名なので、どこかの1人だと思いますけど、民生委員さんは地区で偏りというのはないのかどうなのかだけ、ちょっと確認したいんですが。

○ 水谷健康福祉部次長兼健康福祉課長

特段地区での偏りというのはいません。

ただ、2名欠員のところが一部ございます。

以上です。

○ 樋口博己委員

ちょっと、これ、1年たってまだ欠員があるというのは、今の状況がちょっと余り記憶はないですけど、ちょっと結構大変な状態なのかなと思うんですが。その辺、今、1地区で2名という話ですよ、ちょっとその辺の今までの状況との対比的な感覚はどうですか。

○ 水谷健康福祉部次長兼健康福祉課長

今までもなかなか欠員の状態が続くという地区は、2名欠員の地区というのもずっと前からございまして、この辺のところは早急な解決を図るべく私どももみずから連合自治会長さんのほうにも出向かせていただいて、お願いをさせていただいたり、それから、館長さんのほうにはもう何度も足を運んで状況の確認となるべく推薦のほうをお願いしたいというところで申し上げているところでございます。

この辺の欠員のところのフォローにつきましては、ほかの地区の民生委員さんなり、会長さんなりがカバーをしているというふうな状況の確認はしておるところでございます。

以上でございます。

○ 樋口博己委員

地区によってはそんなに単身の高齢者が住んでみえない地区もあるので、その辺は状況まではお聞きしませんけど、よく地元でフォローし合っていたらいいなと思います。

何年か前に年齢制限とか、少し緩和されてきたんですけども、なかなか、これは特効薬がないですね、民生委員になっていただく方の。よく丁寧に現場を見ながら適宜アドバイスなりお願いしたいなと思います。

以上です。

○ 荒木美幸委員長

他にご質疑はございますでしょうか。

加藤委員、どうぞ。

○ 加藤清助委員

障害者のほうの報告の関連ですけども、（２）で障害者医療費助成制度について——これは審議会やったっけ、施策推進協議会ですね——の協議の報告が載っていて、前段でどういう内容やったかというのと、その下に主な意見というのが４点ほど載っているんですけど、そうすると、前段の平成31年度から始まる第４次の障害者計画にリンクする意見がこういうふうに出たというふうにとめておるんですが、その身体障害者４級の助成制度について、平成31年度からの４次の計画に載せるかどうかの議論がされたのかなと思うんですけども、意見はそれぞれ計画に載せる意味、計画に載っていないというのは、この計画というのは４次計画の素案か何かがあって、それに載せる、載っていないとかということをおっしゃるのか、これからつくる計画に対しておっしゃるのかというのがちょっと読み取りにくかったので、最後の平成31年度からの計画に盛り込んでいく方向で平成30年度並行して協議していくのかなと思ったんですけど、そんな受けとめ、理解でよろしいのでしょうか。

○ 荒木美幸委員長

そのところ、済みません、明確に。

○ 田中障害福祉課長

障害福祉課、田中です。

委員おっしゃるとおりで、今現在の第3次の障害者計画のほうには身体障害者4級の医療費助成については記載がしてございません。次、平成31年度から始まる第4次の障害者計画に身体障害者4級の医療費助成を実施していくことを記載していくというような議論になっております。

○ 加藤清助委員

これは、いろんな団体があって、持ち帰って検討したいという意見もあるんだけど、その障害者団体の中で身体障害者4級を助成対象にすることについて、そうでもないよという意見だとか、合意形成がまだ図られていないという段階なんですか。

○ 田中障害福祉課長

団体に持ち帰ってという部分につきましては、もう少し早く実施できないのかという意味も含めて平成31年度からというふうな形にちょっと捉えられてしまうところがありまして、もう少し早くしてほしいという意味も含めて団体に持ち帰って話し合いをしたいというようなご意見でした。

○ 加藤清助委員

最後、第4次計画策定のためのアンケート案が示されて、アンケートを多分今年度か来年度初めにやって、平成30年度中に計画素案をまとめて、平成31年度スタートさせると思うんですけど、当然、身体障害者4級拡大では、予算の拡大を伴う話になってくると思うんですけど、そういうところら辺は、行政側のほうとしては、いつか出たかわからないけど4級拡大するとどれぐらいの予算増になるとかというのも試算もしながらこの推進協議会で説明したり、対応しているんですか。

○ 田中障害福祉課長

これまでも身体障害者4級の議論をさせていただいておる中で、例えば平成26年度に試算した数字で、身体障害者4級の方を今現状の制度と同じ内容で助成をしたときには、約3億円ぐらいかかるという仮の試算がありましたので、そういった数字を示しながら今現在議論をさせていただいておるところであります。

○ 加藤清助委員

ありがとうございます。

○ 荒木美幸委員長

他にご質疑ございますでしょうか。

○ 小川政人委員

今の話なんだけど、この前勘違いして全会一致で請願が通ったと言ったんだけど、全会一致ではなかったというのがわかった、誰が反対しておったんやといたら、僕らが反対したんや、はっきり言ってな。なぜ、反対したかという、知的障害の人たちが先やという順番があつて、それじゃ、ちょっと知的をまずさきにやって、それから……。

○ 荒木美幸委員長

精神です。

○ 小川政人委員

ごめん、精神をまずやって、それから順番どおり、会のあれのとおり順番どおり次やるから待っておつてということで、僕は請願に反対した。だから、伯仲しておつたよな、反対の意味は、これをあかんと言って反対しておるわけじゃなくて、協議会かどこかのルールどおり優先順位が決まっておるからやってなという、ちょっと待っておつてねという話で僕は反対したと思っておるんやけど、そういう観点からいくと、もう精神は終わっているんやな。だからスピードを持ってやってもらわんと、僕は何を言いたいかという、やっぱり議会で請願を受けて、市でやれるという部分については、国に頼まなあかんとか、県に頼まなあかんという部分については、それは相手があることやでできへんけれども、市で片づけることができるものについては、やっぱり、未決ではないけれども請願というのは議会が採択をしたという重みというのをきちっと捉えてほしいわけ。そこでいくと、やっぱりスピードが遅いと言わざるを得ないもので、それは年次計画があるんやろうという話やけど、そこはまた一つ議会との関係の中からいったらスピードアップを当然図ってもらふべきやと僕は思っておるもんで、その点で遅い遅いといつも文句を言っておる。この前思い出した、やっど。

○ 荒木美幸委員長

永田部長、じゃ、よろしく申し上げます。

○ 永田健康福祉部長

確かに、小川委員からご指摘のとおり時間がかかっているのは事実でございます。

私どもも請願が採択されたことを尊重してこれまでも精神についても進めていたものですし、それから、身体障害者4級についても議論を進めている。申しわけない、時間がかかっているのは、やはりこれまでの制度の見直しも含めて、やはり持続可能な形で今回見直しをさせていただきたいというこちらの思いもあって、時間がかかっております。

この協議会の中でも、このペーパーにも書いてありますように、主な意見の一番上ですけども、団体に持ち帰りたいということと、それから5年ぐらいかかるのかと。要は、平成31年度の計画から5年間は計画期間ですので、その最後の5年でも5年計画の中やないかということで、ご心配の発言がありました。

私どもとしては、これまでの議論の中でかなり整理はついてきているので、それについて具体的な制度設計をして、皆さん今回計画載せる提案はしましたけど、それについて、まず、ご意見を載せるのでいいねというのを今聞いています。障害者団体もちょっとこの時期忙しいので、すぐご返事はいただいていませんけど、次の1月にはご返事いただけると思っています。

その中で、次に、この制度見直しの具体的な案を出し、そして制度設計を図ってできるだけ――まとまり次第ですけど――進めたいとは思っております。時間を要して申しわけありませんが、今後も努力をさせていただきたいと思っております。

○ 小川政人委員

請願が通ってから、団体との会議、結構精力的にやられたって聞いておるんやけど、その精力的にやられた中でも遅いもんで、やっぱり、制度設計って全部ある程度ひな形は行政がつくってやらんと、できへん。そんなの団体だけにどうやとかいう話じゃない話やと思っておるもんで、やっぱりあなた方がきちっとどうあるべきかということを考えて、ひな形をつくって、みんなの意見を聞いて微調整するならするという形でやってもらわんと、向こうの議論を待っておったら、いつまでたってもまとまりませんで、その辺をきちっと

こっちがやる気を出して、ひな形つくって出すべきやなと僕は思う。

○ 荒木美幸委員長

小川委員、コメントを求めますか、よろしいですか。

ご意見として承ります。

他にご質疑はございますでしょうか。

○ 加納康樹委員

本論的な話ではないんですけど、まず、障害者施策推進協議会報告のところ、ご説明はいただいたんですけど、3の(1)で①から⑤までこんな意見がありましたよといって、それに対しても回答を担当課より説明とペーパーには書いてもらっていて、その説明の内容は口頭で説明してもらったんですけど、その口頭で説明してもらったものを1行、2行したためて、①、②のそれぞれのところに、このペーパーの中に入れるということは何か不都合でもあったのでしょうか。

○ 田中障害福祉課長

不都合があったわけではなくて、ちょっと1枚に何とかまとめられないかなということで、迷った上にちょっとこういった形で意見だけをちょっと記載させていただいたところであります。

○ 加納康樹委員

ワンペーパーにまとまるのは美しいと思うんですが、せっかくなので、見ただけで――途中議長からも突っ込まれていましたけど――別に読み上げる必要はないので、書いておいていただければいいのかなと思ったので、別に少々超えても書いてほしいなと思ったのと、2枚目の民生委員の報告会もそうなんですけど、ふと思ったんですけど、今までも書いてないようなんですけど、こういうふうな報告をもらうときって、出席対象者が何名で、何名の出席だったかということぐらいお示しいただいてもいいような気がするんですが、そんなことって何か欠席した人が格好悪いからだめとかあるんでしょうか。

○ 荒木美幸委員長

できるかどうかですね、記載できるかどうか。

○ 水谷健康福祉部次長兼健康福祉課長

大変失礼いたしました。今後その辺も必ず記載をさせていただきます。特に、不都合はございませんので、記載のほうさせていただきます。申しわけございませんでした。

○ 加納康樹委員

ぜひ、そんな形で次回以降報告いただければありがたいなと思います。

以上です。

○ 荒木美幸委員長

加納委員、もしよろしければ、後刻になろうかと思いますが、今ご指摘の部分を資料整理していただいて、またお配りをいただくという措置をとらせていただいてもよろしいでしょうか。

○ 加納康樹委員

システム配信で結構なので。

○ 荒木美幸委員長

可能ですね、それは。では、後刻で構いませんので、再整理をして、委員の皆さんにお配りいただきますようお願いをいたします。

他にご質疑ございますか。

(なし)

○ 荒木美幸委員長

質疑も他にごございませんので、本件はこの程度とさせていただきます。

10 : 29 休憩

○ 荒木美幸委員長

委員の皆様、2日間、長時間にわたりましてご協力をいただき、本当にありがとうございました。何とか時間内に終えることができるようなめどがついてきまして、ありがとうございます。

皆様にお諮りをさせていただきたいのは、事項書のまず27番の休会中の所管事務調査についてでございますが、産業生活常任委員会の資料をお配りいただけますか。きのう、連合審査については産業生活常任委員会のほうから正式にお申し入れがあったということで皆様にお諮りをさせていただき、おおむね了解をいただいたと思っております。日程につきましては、平成30年1月31日の午前10時からとさせていただきますので、ご予約のほうをよろしくお願いいたします。

また、きのうの申し入れ書でございますが、ご指摘がございましたので、産業生活委員長のほうにお伝えをさせていただきまして、再度きちっとした書面でご用意いただいておりますので、今お手元にお配りをいたしました。タイトルのところ、ご確認をいただければと思います。

そして、さらに28番でございます。これが少し皆様にご協議をいただかないといけないのですが、皆様のところに、資料といたしましては、トップページの教育民生常任委員会からお入りいただきまして11月定例月議会をお開きいただき、11だと思っておりますが、市制120周年記念のシティ・ミーティングということで、資料をタブレットに配信いたしておりますので、ご確認をいただきたいと思っております。

この市制120周年記念のシティ・ミーティングにつきましては、ご承知のように、平成30年1月21日日曜日、午後1時から4時までということで、総合会館8階の視聴覚室ほかで開催の予定でございます。開催方法の詳細につきましては、現在広報広聴委員会で協議をしていただいておりますが、進行の大まかな流れは今ごらんいただいているかと思っておりますが、視聴覚室において、まず開会式、そして、4常任委員会合同の議会報告会を実施いたしまして、休憩を挟み、各常任委員会ごとに各会場に分かれましてシティ・ミーティングを実施という流れとなっております。そして、最後に視聴覚室に全員戻りまして、各会場でのいただいたご意見等、意見交換の概要を発表していただくという流れでございます。

本委員会で決めていきたいことが、まず1点目は、議会報告会の内容でございますが、

広報広聴委員のご協議の中で、まずお示しをいただいているのが、各常任委員会の報告時間は8分程度ということ、8分以内ということをごさいますして、報告内容につきましては任されてはおりますが、少なくとも1件以上の審査概要を報告し、あとは各常任委員会の判断でということになっております。それについての資料については、A4一、二枚程度のわかりやすい簡素なものを用意するということを進めていきたいと思っております。一部の議会報告会では、まず、報告を誰がするのかということ、そして、どの議案を報告するのかということ、まず皆様からご意見等がありましたら承りたいと思っておりますが、いかがでしょうか。もし特段ご意見がなければ、正副にご一任いただいてもよろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 荒木美幸委員長

ありがとうございます。

じゃ、こちらのほうで決めさせていただきます。

次に、シティ・ミーティングについて少しご協議いただきますが、シティ・ミーティングの資料、別紙でついているかと思いますが、まず、広報広聴委員会のほうからお示しをいただいていますのが、共通テーマが一つあります。これは各四つの常任委員会の共通テーマが一つ。それからもう一つが、6個題目が上がっているかと思いますが、この中から一つテーマを選んでいただきたいということです。そして、当日、流れとしましては、実は1時間ぐらいのタイトなお時間ですので、各常任委員会で選んでいただいたテーマをまず先に先行してやっていきまして、時間が余るといって少し語弊がありますが、時間に余裕があれば共通テーマにまで及んでもいいということで、時間の状況を見ながら、皆様方の状況を見ながら、二つできるか、あるいは一つで終わるか、それは当日の判断になるかと思いますが、進めさせていただく予定でございます。

実は、既に三つの常任委員会が終わっておりまして、もう選定がされているようですが、まずこの六つの中から各常任委員会で皆様からご意見をいただいて、このテーマで行こうというのをまず選んでいただきたいと思っております。しかし、他の常任委員会と決めていただいたテーマが重なる可能性が非常にありますので、一応四つ、優先順位をつけながら選んでいただければ非常に調整がしやすいかなと思っております。四つ選ばないまでも、まず

皆様からぜひこれをやりたい、これがだめならこれをやりたい程度のことで結構ですので、何かご意見がございましたら承りたいと思います。いかがでしょうか。

何かご意見はございますか。選挙、市議会あるいは議員のイメージ、議会の必要性、期待する役割、はい、どうぞ。

○ 樋口博己委員

今委員長が言われたのは、ほかの常任委員会と重なったら調整がかかるということですか。

○ 荒木美幸委員長

調整がかかります。その調整の仕方……。

○ 樋口博己委員

ほかの状況は公開されないんですが。

○ 荒木美幸委員長

申しわけございませんが公開いたしません。

○ 萩須智之委員

何でもいいんですか。

○ 荒木美幸委員長

何でもいいです、どうぞ。

○ 萩須智之委員

じゃ、2番の市議会議員のイメージ。

○ 荒木美幸委員長

今、萩須委員のほうから、2番のテーマはどうかという声をいただきました。

他の委員の皆さんはいかがでしょう。

必ずしもこれで決まるかどうかは何とも今のところは申し上げることができないのですが、まず委員からの意見ということで2番ですね。

いかがでしょうか。それよりもこれをやりたいとか、2番がダメなら候補で次に挙げておいてくれとかというようなご意見がありましたら承りますので。

(なし)

○ 荒木美幸委員長

では、ご意見もないようですので、本委員会といたしましてのテーマとしては、2番の市議会及び市議会議員のイメージというところを私どもの委員会のテーマとまず決めさせていただいてよろしいでしょうか。

○ 豊田政典委員

第2希望は。

○ 荒木美幸委員長

第2希望。そうですね。

じゃ、次、第2希望まで。第3、第4希望については、よろしければ正副にお任せをいただきたいと思います、お時間もかかりますので、選んでいただくのに。

じゃ、もし第1が他の委員会と大変重なり、調整をした結果、我が委員会はほかのにしてくださいということになった場合、候補として第2候補を決めていきたいと思いますが、ご希望などいかがでしょうか。ございませんか。

副委員長、ありますか、何か。

○ 藤田真信副委員長

5の市民参加。

○ 荒木美幸委員長

市民参加の議会という副委員長からご意見をいただきました。

異議がなければ、今ご提案をいただいた1番に2番の市議会及び市議会議員のイメージ、

そして、2番として5番の市民参加の議会ということで提案をさせていただきますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 荒木美幸委員長

ありがとうございます。

では、第3、第4の案につきましては、正副のほうにお任せをいただきたいと思います。さらにもう少し、申しわけございません。

実は、シティ・ミーティング、テーマはまだ仮ですけれども決めていただいた中で、1時間の中でやっていく内容は、基本的にはもちろん市民の方との意見交換ということになりますけれども、この中で、今想定される役割として、そのシティ・ミーティングの進行係、それから、緑の文字で書いていただいているのは、これは、例えば、この説明をするときに少し用いていただきたい資料として、こういうものを用いてプレゼンテーションを冒頭でやってもらうとわかりやすいのではないかとということで提案をされています。よって、このプレゼンテーションをする方が1名、さらには、1時間のやりとりを筆記していただき、全体会に戻ったときに発表していただく係がお一人ということで、三つの役割が今のところ想定されます。皆様の中で、ぜひこの役割をシティ・ミーティングで私にやらせてほしい、やってみたい、やってあげようとおっしゃる方がいらっしゃいましたら、まづご希望を募りたいと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

○ 樋口博己委員

正副で決めて……。

○ 荒木美幸委員長

ということですね、わかりました。

では、ご希望がないようですので、実は副委員長ともいろいろお話をしていきまして、シティ・ミーティングの想定される形というのが、これまでの流れですと、いわゆる対面式で市民の方対議員というレイアウト、あるいは、教育民生常任委員会でも行いましたように、二つのグループに分かれてグループ形式で意見聴取をするという方式もありますが、

今、副委員長とは、もう少し、今までと同じじゃなくて違う形で、全員が参加をしやすいような雰囲気をつくりながらできないだろうかとちょっと考え中でございます、ひそかにプロジェクトチームをつくり、これから少し考えていきたいと思っています。それによって、もしかしたら進行係はこの方にと、こちらのほうからお願いすることもあるかと思っておりますので、お受けいただけるかどうかは別にしまして、ちょっとそのようにこちらで工夫をしながら進めてまいりたいと思っておりますので、ご一任をいただければと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 荒木美幸委員長

ありがとうございます。

オファーがあったときは、どうかご協力を賜りますようによろしくお願いいたします。

本日に2日間にわたりまして、長時間、熱心なご議論ありがとうございました。

○ 豊田政典委員

26番はしないの。

○ 荒木美幸委員長

26番については、今回は所管事務調査、実は樋口委員のほうから点字ブロックということでご提案をいただいていたのですが、きょうの今議会中ではないという確認をとらせていただいております。今後の農福連携の所管事務調査の中でできるかどうか、物理的なこともありますので、あるいはそれで無理であれば、予算にかかってくる議会の中で、どこかで、例えば資料請求などをしていただいて、障害福祉にかかわる部分でプラスして説明をしていただくとか、そのような手法をとれないかなというふうには考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○ 豊田政典委員

わかりました。

○ 荒木美幸委員長

ありがとうございました。

以上でございます。皆さん本当にありがとうございました。お疲れさまでございました。

17:07 閉議